

公開シンポジウム
「教育におけるデジタル・トランスフォーメーションの
現在と未来」
一般参加募集のご案内

公開シンポジウム「教育におけるデジタル・トランスフォーメーションの現在と未来」を、Zoom ミーティングを使用したオンライン形式にて開催いたします。小中学校・高校・大学等の教育段階を問わず、人工知能（AI）と教育、オンライン教育など、今後の教育のあり方にご関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。

日時： 2021年8月7日（土） 16：00～17：15（オンライン開催）

共催： 国際教育学会（ISE）、神戸大学計算社会科学研究センター*1、神戸大学社会システムイノベーションセンター、同志社大学ライフリスク研究センター*2

*1:科学研究費基盤 B #16H03598, 科学研究費基盤 S #15H05729、*2:創造経済研究センター

参加料： 無料

参加対象者： 広く教育に関心のある方々

定員： 300名（先着順）

申し込み方法：

下記の参加申し込みフォームよりお申込ください。

<http://sfi-npo.net/ise/registration/>

募集締切： 8月6日（金）

お問い合わせ先： 国際教育学会事務局（E-mail: ise@sfi-npo.net）

【プログラム】

パネル・ディスカッション方式により、75分間という短時間で、凝縮した内容をお届けします。以下のスケジュールは目安であり、若干前後する可能性があります。

16:00～16:05: 八木匡（同志社大学 経済学部 教授）

モデレーターによる問題提起

16:05～16:15: 山田誠二（国立情報学研究所 教授、総合研究大学院大学 教授、東京工業大学 特定教授）

パネリスト報告1 「AIと教育のコラボ：アダプティブラーニング」

16:15～16:25: 山本秀樹（AMS 合同会社代表、元ミネルバ大学日本連絡事務所代表）

パネリスト報告2 「今、世界が注目する“ミネルバ大学”に見る教育DX」

16:25～16:35: 大森不二雄（東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授）

パネリスト報告3 「教育デジタル化の光と影：コロナ禍と新常态」

16:35～17:15: パネル・ディスカッション

パネリスト：

山田 誠二（国立情報学研究所 教授、総合研究大学院大学 教授、東京工業大学 特定教授）

山本 秀樹（AMS 合同会社代表、元ミネルバ大学日本連絡事務所代表）

大森 不二雄（東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授）

モデレーター：

八木 匡（同志社大学 経済学部 教授）・西村和雄（神戸大学 特命教授）

【開催趣旨】

近年、経済・社会の各分野において、ITの浸透に加え、人工知能（AI）やビッグデータの活用が進展し、デジタル・トランスフォーメーション（DX）と呼ばれる変革の時代を迎えているとされます。そして、コロナ禍がDXを加速していると言われます。教育もまた例外ではありません。小・中学校については政府のGIGAスクール構想によって1人1台端末の配備等が前倒し実施される一方、大学ではパンデミックへの緊急対応としてオンライン授業が一気に普及しました。

教育のDXは、単なるデジタル化ではなく、教育の質・水準の向上と公平な教育機会に資するものでなければなりません。このような観点から、本シンポジウムは企画されました。

このため、人工知能学会会長（2016～2018）を務めるとともに、『本当は、ずっと愚かで、はるかに使えるAI』等の著書でも知られるAI研究の第一人者（山田誠二氏）、授業は全てオンラインの反転学習で、入試からキャリア支援まで最新の情報技術を徹底活用しているミネルバ大学に関する著書2冊の著者（山本秀樹氏）、国際的視点から初等中等教育及び高等教育におけるDXの動向をフォローする教育政策研究者（大森不二雄氏）をパネリストとして、パネル・ディスカッション方式による公開シンポジウムをオンラインで開催致します。